



2026 年 10 月 6 日

マツダ、「JAPAN MOBILITY SHOW BIZWEEK 2026」に参画 -共創パートナーとの出会いを通じ、新たな価値創出と持続可能な社会の実現を目指す-

マツダ株式会社(以下、マツダ)は、10 月 13 日(火)から 10 月 16 日(金)まで千葉県の幕張メッセにて開催されるビジネスイベント「JAPAN MOBILITY SHOW BIZWEEK 2026(ジャパンモビリティショービズウィーク 2026)」に参画します。マツダは、多様な企業や研究機関とともに進めてきた技術開発の事例を紹介するとともに、新たな共創機会を拓けながら、「ひと中心」の価値創出と社会実装を目指します。



「JAPAN MOBILITY SHOW BIZWEEK 2026」マツダブースイメージ

「JAPAN MOBILITY SHOW BIZWEEK 2026(主催:一般社団法人日本自動車工業会)」は、自動車メーカーに加え、スタートアップ、大学・研究機関、事業会社などが業種や業界の枠を超えて出会い、新たな価値や事業機会の創出を目指すビジネスイベントです。また、日本を代表するデジタルイノベーションの総合展である「CEATEC 2026」と併催され、幅広い分野での共創機会を提供しています。

マツダは、「MeetUp-Box」、「ブース出展」、「合同展示」、「未来モビリティ会議」の4つの企画に参画します。

2024 年の JAPAN MOBILITY SHOW BIZWEEK では、「MeetUp-Box」においてスタートアップや異業種企業との 30 件以上のマッチングが成立し、新たな共創機会を創出しました。また、2025 年の JAPAN MOBILITY SHOW では、「MAZDA VISION X-COUPÉ」で内燃機関ならではの走る歓びとカーボンニュートラルの両立を、「MAZDA VISION X-COMPACT」で共感型 AI を活用した人とクルマの新しい関係という未来像を提案しました。2026 年は、それらの未来像の実現に向けた共創事例や技術開発を紹介します。

「ブース出展」では、英国スタートアップ Thymia 社との協業による共感型 AI の研究開発を紹介します。同社の音声解析技術とマツダの人間研究や車両データを組み合わせ、人に寄り添う新たな移動体験の実現を目指します。「合同展示」では、高い燃料適応性をもつロータリーエンジンのコンセプトユニットを展示し、マルチソリューション戦略によるカーボンニュートラル実現に向けた可能性を提案します。

また「未来モビリティ会議」では、10 月 14 日(水)の「環境も経済も、ともに良い方へ」をテーマとするビジネスセッションに、代表取締役社長兼 CEO の毛籠勝弘が参加します。地域・用途ごとのエネルギーベストミックスを設計し、脱炭素を生活者便益と産業競争力につなげる考え方について議論します。また当社が推進する微細藻類由来のカーボンニュートラル燃料や CO₂回収技術の取り組みも紹介します。

マツダは今後も、多様な知見や技術を持つパートナーとの共創を深めながら、新しい移動体験と持続可能な社会の実現に挑戦してまいります。また、「走る喜び」を進化させ、お客さまの日常に移動体験の感動を創造し、「生きる喜び」をお届けしてまいります。

【ご参考】

■マツダ、ジャパンモビリティショー2025 にて 2 台のビジョンモデルを世界初公開

<https://newsroom.mazda.com/ja/publicity/release/2025/202510/251029b.html>

■マツダ、「JAPAN MOBILITY SHOW BIZWEEK 2024」に出展

<https://newsroom.mazda.com/ja/publicity/release/2024/202410/241008a.html>

以 上
